産業構造審議会 産業技術環境分科会 廃棄物・リサイクル小委員会 容器包装リサイクルワーキンググループ（第22回）（書面審議）- 議事要旨

日時：平成28年9月30日（金曜日）から平成28年10月11日（火曜日）まで

ワーキンググループ委員

郡蔭座長、有田委員、織委員、川村委員、鬼沢委員、古塩委員、小嶋委員、佐々木委員、篠木委員、城端委員、杉山委員、鈴木委員、宗和委員、田代委員、辰巳委員、中田委員、根本委員、花澤委員、馬場委員、平尾委員、宮田委員、村山委員、百瀬委員、森塚委員、柳田委員、山村委員

議題

容器包装リサイクル法の義務量算定に係る量、比率等について

議事概要

議題について書面審議により意見を聴取した。提出された意見は次のとおり。

委員の主な意見

- 適切な調査・推定が行われている。算定結果について特段の問題はない。
- 実態調査では事業者が正確に回答することが基本であり、回収率を上げると同時に、事業者が調査の内容を正しく理解して記載できるような工夫が必要。
- ペットボトルの再商品化見込量が現行より下がっている理由が不明である。
- 業種区分ごとの再商品化義務総量から当該業種全体の容器包装廃棄物の排出見込量を除いた数値についても参考資料として提示すべきではないか。

関連リンク

[産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会 容器包装リサイクルワーキンググループの開催状況](#)

お問合せ先

産業技術環境局 リサイクル推進課
電話：03-3501-4978
FAX：03-3501-9489

最終更新日：2016年10月14日